

妙音菩薩品 第一十四

# 法華経と私たち 第二十六回

そのとき、釈迦牟尼如来は眉間から光を放ち、東方の十八のガンジス川の砂の数に等しい諸仏の世界を照らした。それを超えた向こうに、淨光莊嚴と言う名の世界があつた。そこに仏がいて淨華宿王智如來と号した。釈迦牟尼如來の光はあまねくその世界を照らした。その一切淨光莊嚴国に、妙音という菩薩がいた。善根を植え、百千万億の諸仏を供養して、深い智慧と三昧を得た。釈迦牟尼如來の光明が達したとき、妙音菩薩は淨華宿王智仏に言つた。「世尊よ、わたしは娑婆世界に行つて、釈迦牟尼仏を礼拝し供養し、文殊師利法王子菩薩、藥王菩薩、勇施菩薩、上行菩薩、莊嚴王菩薩、藥上菩薩に会いたいと思います。」そのとき、淨華宿王智仏は妙音菩薩に言つた。「お前はあそこの國へ行つても、その国を軽んじたり仏や菩薩や国土をさげすむような思いを起こしてはならない。」

# たち 第一十六回

妙音菩薩は、仏に言つた。「世尊よ、わたしが娑婆世界に行けるのも、すべて如來の神通力であり、如來の智慧のおかげです」そして妙音菩薩は座を立たず三昧に入り、靈鷲山に蓮華の座を作つた。文殊師利法王子は、この蓮華を見て釈尊に訊ねた。「世尊よ、この菩薩はどのようにしてこの神通力を得たのでしょうか。世尊よ、どうかこの菩薩の姿が見えるようにしてください」釈尊は文殊師利に応えた。「多宝如來が、妙音菩薩の姿を娑婆世界に見えるように現してくれるだろう」そのとき妙音菩薩はかの国を去つて八万四千の菩薩と共に現れた。妙音菩薩の眼は大きな蓮華の華のようで、面差しは端正で光輝いていた。身体は黄金に輝き、無量の功德を積んだ威風を払つていた。妙音菩薩は、釈迦牟尼仏の前に至り、百千金の値の真珠を奉つた。そのとき華徳菩薩が釈尊に問うた。「世尊よ、この妙音菩薩はどのような功德を積

んでこの神通力を得たのでしようか。」釈尊は華徳菩薩に語つた。「華徳よ、この妙音菩薩はかつて無量の諸仏に仕えて供養した。この菩薩は様々な身体に変身して現れ、あるところでは梵天の姿をしあるいは帝釈天の姿を現し、転輪聖王・長者・居士・宰相・婆羅門・毘沙門天王・比丘・比丘尼・優婆塞・優婆夷・夜叉・乾闥婆・阿修羅・迦樓羅・緊那羅・魔護羅迦・人・非人等の姿を現してこの経を説き、地獄・餓鬼・畜生等の娑婆世界の諸々の衆生を救済してきたのである。この菩薩はこのよう時に時と処に応じて変身し、声聞には声聞の姿で、辟支仏には辟支仏の姿で、菩薩には菩薩の姿で、仏には仏の姿で現れ法を説くのである。華徳よ、妙音菩薩はこのような神通力と智慧の力をを持つてゐるのである。」華徳菩薩は釈尊に問うた。「この菩薩はどんな三昧にあつて、衆生を救えるのか」釈尊は答えた。「それは現一切色心三昧という。ここに住して衆生を利するのである」この妙音菩薩品を説いたとき、妙音菩薩と一緒にきた菩薩や娑婆世界の菩薩たちは三昧と陀羅尼を得たのである。

宝清寺管理寺務所からのお願い

## ① 新使用者への承継手続きが必要です。

現使  
用者に発行している墓地使用許可証と一緒に提出して下さい。

**② 管理料をゆうちょ銀行の自動引き落しにされている方は、新たに手続きが必要です。**

引落口座名義人が逝去された場合、引き落しを停止させて頂きますので、新使用者の口座から管理料の自動引き落しを希望される場合は、あらためてお手続き下さい。

**住職及び管理寺務所にご相談のある方**

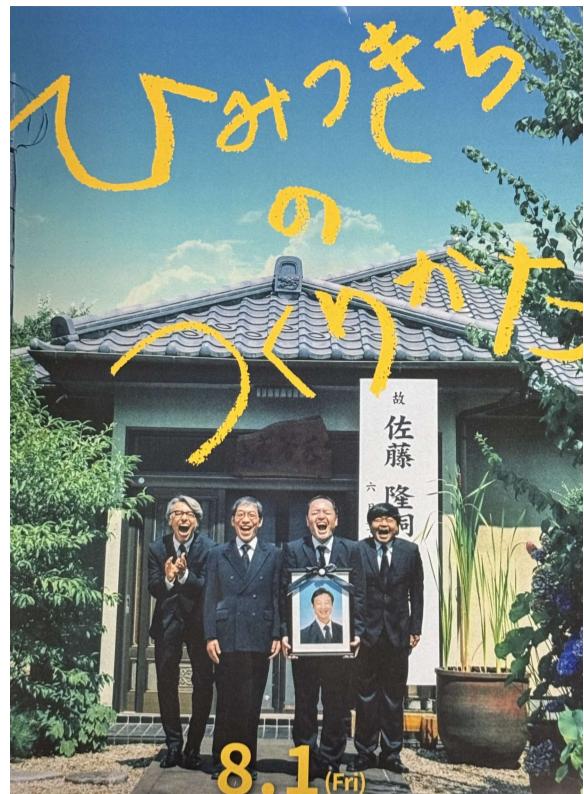
葬儀・法事・お墓の改修工事など、ご相談のある方は、事前にご相談の日時を電話で打ち合わせの上、ご来寺下さい。

## 二 住職及び管理寺務所にご相談のある方

三　お問い合わせについてのお願い  
各種お問い合わせは、午前九時から午後四時までにお願い致します。

子菩薩、藥王菩薩、勇施菩薩、上行菩薩、莊嚴王菩薩、藥上菩薩に会いたいと思います。」そのとき、淨華宿王智仏は妙音菩薩に言った。「お前はあそこの國へ行つても、その國を軽んじたり仏菩薩や国土をさげすむような思いを

# 宝清寺の水谷庵で撮影 『ひみつきちのつくりかた』



されたバツイチ子持ちのサ  
藤田健彦)、工藤(もりたか  
お)、豊永(佐藤貢三)と  
再会することになる。大  
人になり別々の人生を歩  
んだ四人の初老たち。昔  
話に花を咲かせると、工  
藤がある一冊のノートを  
取り出す。そこに描かれ  
ていたのは『ひみつきち  
の建設計画』。その夏、  
彼らはあの頃夢を抱いて  
いた「ひみつきち」をも  
う一度計画し始める。し  
かし、彼らの目の前には  
様々な「大人の事情」が  
立ちはだかるのだった。  
と言うもので、監督・脚  
本は板橋知也氏です。



「日の出のイオンモールの映画館でも上映されれば」と話されました。映画館は初日は満席でしたが、翌日からも満席で映画に対する関心の高さが伺えます。

映画終了後、恵水プロデューサーがポスターの前で観客の皆様と挨拶をされていました。外では、板橋監督と出演者が出迎え、希望者と記念撮影をしており、和やかな雰囲気の中、映画の余韻を楽しんでいました。

この「ひみつきちのつくりかた」が、S K I P S I T E I 国際Dシネマ映画祭2025にて観客賞を受賞し、レッドカーペットを歩かれたそうです。

シモキタ・エキマエ・シネマ『K2』では、八月二十八日まで上映しています。

その後の予定は未定です。

## 宝清寺

東京都あきる野市小川101番地

メールアドレス houseiji@ac.auone-net.jp